「オンライン情報検索:先人の足跡をたどる」連載の中休み

時実 象一*

2008年4月から開始した「オンライン情報検索:先人の足跡をたどる」も検索システム・データベース提供側の記事が一巡りしたところである。読者の方々にはお楽しみいただけただろうか。

この連載の目的は、今や子どもからお年寄りまで誰でもが生活の一部として使っている情報検索システムのルーツを探し、歴史の記録としてとどめることにある。5月号のTOOL-IR(山本毅雄氏)に始まり、JOIS(諏訪秀策氏)、PATOLIS(川島順氏)、NEEDS(末吉行雄氏)、HINET/HAPPINESS(沓澤尚明、飯田一幸氏)、DIALOG-1(三浦勲氏)、DIALOG-2(高原良文氏)、DERWENT(大槻望氏)、ORBIT(松島尭氏)に至るまで、多くは現在も活用されているオンライン検索サービスやデータベースの歴史が語られている。

TOOL-IR は企業の方にはなじみがなかったかもしれないが、日本で最初に実用化されたオンライン検索サービスであり、CASの CA Condensatesのオンライン検索として大学の化学研究者には懐かしい名前である。記念碑的なサービスとして最初に書いていただいた。

JOIS、PATOLIS、NEEDS はそれぞれ科学技術文献、特許、ビジネスの各情報サービスとして 1970 年代末から相次いでオンライン提供された。いずれも最初はカタカナのみのサービスであったが、1980 年代に入って次々に漢字化された。漢字コードの開発、漢字端末の開発はこれら三者の協力によるものであり、日本の電算機システムの漢字化にも大きく貢献したことが各氏の記事からわかる。JOISは 2003 年に CAS のプラットフォームに移り New JOISとなった後、2006 年 4 月に Web 方式の JDreamII に置き換えられ、その名前はなくなった。PATOLIS は当初日本特許情報センター(JAPATIC)のサービスとして出発したが、JAPATICが日本特許情報機構(Japio)に移行した後パトリス社が分離独立して現在に至っている。NEEDS を

開発した日本経済新聞はその後ラインナップを充実し、新聞記事検索はその「日経テレコン 21」サービスの一部として盛んに利用されている。

米国で開発され、世界で利用された DIALOG、ORBIT が同じ頃日本に導入された。当初は利用できる国際データ 通信網が存在せず、代理店が独自に専用回線を設置したり、あるいは国内に独立したシステムを構築したりして大変苦労された。DIALOG は当初導入した紀伊國屋書店と丸善両代理店のサービスが、DIALOG 側の要請もあり統一することになり、1996年11月に KMK デジテックスが設立された。同社は 2000年2月に解散し、㈱ジー・サーチが事業を引き継いだ。ORBIT はその後 Questel・Orbit となり、現在はパトリス社とプロパティ社が代理店となっている。

DERWENT は英国で生まれた特許データベースであるが、早くから冊子体やカード、磁気テープなどの形で各企業において利用されていた。これがオンラインで利用できるようになるまではさまざまな苦労があったことがわかる。DERWENT はその後トムソン社の一部となり、現在はトムソン・ロイター トムソンコーポレーション㈱(日本法人)が取り扱っている。

また途中にはさんでいただいた,オンラインの前史ともいうべき社内検索サービス(SDI 検索)(岡本敏晴氏)の話も興味深い。

これらを読みとおしてみると、先人たちの汗と涙が感じられるとともに、先輩の方々に失礼を省みずいうならば、新しいおもちゃを手にした子どもの興奮のようなものが伝わってくるのではないだろうか。今の日本に必要なのは、そのようながむしゃらな興奮なのかもしれない。

連載の今後は観点が変わり、主として利用者側の経験を 語っていただくことになる。引き続きご愛読いただければ 幸いである。

Series: Footsteps of information retrieval service pioneers (12): Footsteps of information retrieval service pioneers-Intermission. Soichi TOKIZANE (Library and Information Science, Faculty of Letters, Aichi University, 1-1 Machihata-cho, Toyohashi, Aichi 441-8522 JAPAN)

〒441-8522 愛知県豊橋市町畑町 1-1

Tel. 0532-47-4467

(原稿受領 2009.1.15)

^{*}ときざね そういち 愛知大学文学部図書館情報学専攻